

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 競技規則について

本大会は2021年度 公益財団法人 日本陸上競技連盟競技規則及び本大会注意事項によって実施する。

## 2. 練習場は下記の通りとする。本競技場を使用してもよい。但し、投てき練習は監督・コーチが必ず付くこと。

・8月20日(金) 12:00~17:30

\*トラック ・1~2レーン 中長距離 ・7レーン女子100mH、400mH  
 ・3~6レーン 短距離 ・8レーン男子110mH、400mH

\*フィールド ・走幅跳スタンド側ピット

・走幅跳練習時間 12:00~13:00 15:00~16:30 ・三段跳 13:00~15:00 16:30~17:30  
 ※ただし、走幅跳は男子Aピット、女子Bピットで行う。

・走高跳 第3・4コーナー付近 ・棒高跳バックストレート側ピット

・跳躍と棒高跳の練習時間は12:00~17:00とする。

・投てきは次の通りとする。\*ハンマー投練習は、サブ投てき練習場のみとする。

・やり投 12:00~13:15 15:00~16:15 ・円盤投 13:15~15:00 16:15~17:30

・砲丸投 12:00~17:00 ・ハンマー投 12:00~17:00 (サブ投てき練習場)

・8月21日(土) 7:00~8:00 各種目の時間帯は公開練習要領参照

・8月22日(日) 7:00~8:30 //

## 3. 競技者の集合について

(1) 招集所は正面出入り口付近に設ける。

(2) コロナ感染防止から各自競技者は、競技者係に掲示してあるスタートリストの自分のナンバー、氏名に○を付ける。  
 トラック競技(リレーは4走のみ)は腰ナンバーを受けとり招集完了時間前に競技開始場所に集合する。

(3) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、全てその競技時刻を基準とし、下記の要領で行う。

種 目	招集開始時間	招集完了時間	点 呼 要 領
トラック種目	30分前	20分前	20分前スタート地点で点呼
フィールド種目	40分前	30分前	30分前現地で点呼
棒 高 跳	70分前	60分前	60分前現地で点呼

(4) 競技者係で招集完了時刻前までに競技に使用するシューズの確認を受けること。招集完了時刻までに各競技開始場所にて審判員よりアスリートビブスの確認と点呼を受け、指示があるまでその場で待機していること。

(5) 棒高跳に出場する競技者は、競技会時刻60分前までに現地に集合のうえ点呼を受け準備を行う。

(6) 同時に2種目以上に出場しているなど特別な事情がある場合に限り、代理人による点呼を認める。この場合は必ず競技者主任に申し出ること。また、2種目同時出場届(競技者係に用意)を競技者係に提出すること。

(7) 競技者係に掲示している各種目競技者スタートリストに時間まで出場確認の○がついていない場合は、棄権をしたものと判断し処理するので注意をすること。

(8) 競技者係に掲示してある各種目競技者スタートリストに○を付けても、招集完了時間に競技者がいない場合は、当該種目を棄権したものと判断し処理するので注意をすること。

(9) 当該競技を棄権する場合は、必ず棄権届を競技者係に提出すること。(招集時刻前まで提出すること。)

(10) 混成競技は、第1日目、第2日目の最初のみ競技者係で点呼を受け、以後は混成係の指示を受けること。

(11) 選手の競技開始場所までの移動は、次の通りとする。競技運営マニュアルに従って移動する。

①300m・300mH・400m・800m・1500m・10000m・10000mW・400mH・400mR 第1走者、第2走者・1600mR・円盤投  
 ハンマー投・やり投 → 競技場第1ゲートから入り、トラックの外側を通り所定の競技場所に移動する。

②100m・200m・100mH・110mH・3000mSC・400mR 第3走者、第4走者・棒高跳・走幅跳  
 → 競技場第4ゲートから入り、トラックの外側を通り所定の競技場所に移動する。

(12) 選手の荷物は、ゴール後にトラックの外を通り、スタート地点に荷物を取りに戻る。但し、本部前を通ることはできない。

#### 4. アスリートビブスについて

- (1) 全ての競技者はユニホームの胸と背に主催者が交付したアスリートビブスを確実に付けること。跳躍競技に出場する競技者は、胸または、背のどちらかに付けるだけでよい。
- (2)トラック競技出場者は、写真判定用の腰ゼッケン（点呼の際、競技者係より粘着用を配布）を右腰やや後方に付けること。（競技終了後は返却の必要はない）なお、1500mは黄色腰布ゼッケンを付ける。3000m以上は、胸と腰に黄色ゼッケンを付ける。

#### 5. レーン順、競技順について

- (1)トラック競技予選レーン順、フィールド競技順はプログラム記載順による。
- (2)準決勝、決勝の組み合わせ及びレーン順は番組編成係で抽選をし、その結果を招集所に掲示する。
- (3)A・B決勝の振り分けについては、予選通過者をTR20.3.2に基づき、上位8名をA、下位8名をBとする。

#### 6. 競技について

- (1)競技規則TR16.8により、不正スタートをした競技者は1回目で該当競技を失格とする。また、競技規則TR16.5～3を行った場合は、該当競技を失格とするが、それ以後の出場は妨げない。
- (2)トラック競技における競技規則TR5.13に違反するシューズでの出場は認めない。
- (3)フィールド種目においては競技規則TR5.5を適用しない。よって記録は国内のみ通用するものとなりWAへの申請も行わない。
- (4)長距離走において1レースの競技者が多数の場合は、グループスタートで行う。
- (5)タイムレース決勝については、申し込み記録により上位・下位に組み分けを行う。
- (6)競技中の助力については、競技規則TR6に基づくものとする。また、競技者はビデオ装置、携帯電話、CDプレイヤートランシーバーもしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用できない。
- (7)トラックレースにおいて予選の棄権者により出場者が8名以内の場合は、予選を止め決勝の時間に行う。
- (8)リレーオーダー用紙については、次の通りとする。
  - ①リレーオーダー用紙は、招集所に用意する。
  - ②オーダー用紙は、競技開始1時間前までの提出をもって完了とする。
- (9)走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	備考		
走高跳男子	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	以後は3cmあがり		
走高跳女子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以後は3cmあがり		
棒高跳男子	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	以後は10cmあがり		
棒高跳女子	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	以後は10cmあがり		
混成走高跳男子	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	以後は3cmあがり		
混成走高跳女子	1m35	1m40	1m43	1m46	1m49	1m52	以後は3cmあがり		
混成棒高跳男子	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以後は10cmあがり

①第1位決定の上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳5cmとする。

②天候その他の特殊条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。但し混成競技、棒高跳は審判長が別に定める。

- (10)男子1500mの出場者が16名以下の場合は、予選をとり止めて決勝時に行う。
- (11)10000mWにおいて9600m地点を60分経過した選手は失格とする。
- (12)男子4×400mRは、開催要項において1日目に予選と記載しているが本大会は2日目にタイムレース決勝として行う。男子・女子4×100mRは、参加チームが8チーム以下の場合は、1日目の決勝時に決勝を行う。

#### 7. 競技場への入退場について

- (1)無観客による開催なので競技者・引率・コーチ以外は競技場内（スタンド、芝席を含む）に立ち入ることはできない。また、競技場への入場は、マスク着用と入口ゲートに設置してある消毒液で必ず消毒する。競技前までマスク着用のこと。
- (2)競技役員は、受付時にネームプレートを受けとり着用すること。また、各団体の引率者や選手引率の保護者は、競技者係横の受付で入場許可証を受けとり着用すること。帰りの際は、返却すること。なお、着用がない場合は、入場を認めない。
- (3)競技開始時や終了後は、スタンド横の通路より退場し、メインスタンド前は通行しないこと。
- (4)フィールド競技における競技者は、当該審判員やマーシャルの指示に従い退場する。

## 8. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する要器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳びのポールは個人使用のものを使用する。ポールについては、競技開始前に跳躍場で跳躍審判員の検定を受け許可されたものが使用できる。また、やりも個人所有のものを認める。ただし、用器具庫で検定を受けること。
- (2) フィールド競技の助走で使用するマーカーは主催者が用意する。競技が終了したら競技者が取り外し、所定の場所に返納する。
- (3) リレーで使用するスタートマーク用テープは、必要とするチームに主催者が用意をする。バトンパス終了後はチーム内で後始末をする。

## 9. 競技用スパイクシューズと靴底の厚さについて

- (1) 競技場は全天候型であり、スパイクピンの本数は11本以内で長さは9mm以内、走高跳とやり投は12mm以内とする。また、靴底の最大の厚さはフィールド種目（除く：三段跳）20mm、三段跳25mm、トラック競技（ハードル種目を含み800m未満の種目）20mm、トラック種目（障害物競走を含み800m以上の種目）25mm、競歩40mmとする。

## 10. 表彰について

- ・コロナ対策のため表彰式は行わない。各種目1～3位までの入賞者は、正面入口エントランスホールに賞状置き場を設けるので各自取りに来ること。

## 11. 選手権者は北海道陸上競技登録者でないと、日本選手権には出場できない。

## 12. テントの設置について

- ・テント設置場所は、次に従い設置すること。テントは各自・各校の管理責任とし、主催者は一切責任を負わない。
- ・大会期間中、競技場芝席内は設置したままで良いが、その他の設置場所のテントは、その日ごとに撤去すること。
- ・本競技場芝席・サブ競技場芝（フィールド内は禁止）・競技場正面玄関前芝とする。但し、**テント間は2mあける。**

## 13. 応急処置について

医務室に医務員を配置するが、応急処置までの対応である。

## 14. ごみの処理のお願い

ごみは全て持ち帰ること。

## 15. その他

- ・本大会要項並びに感染リスクを軽減させた競技会のチェックリスト（日本陸連）を踏まえた対応をとること。
- ・各自・各校は北海道陸協HPに掲載している新型コロナウイルス感染症体調管理チェックシートに記入し、朝のうちに競技者係に提出すること。
- ・貴重品などの管理は、各自・各校の責任を持って行う。